

英語セミナー(1) 英語をたのしもう！

好きなアーティストの曲、アルバムから世界を持つ

好きな音楽、曲から英語を学ぶ。これほど効率的な学習法はないでしょう。言わずとも、これを実践している人も多いと思います。好きな曲はくりかえし、くりかえし聴いているはず。メロディー、そして歌詞もわからないながら自然に頭に、身体に染み込んでいるはず。この場合、意味とか、文法とか最初は気にしないことが重要です。

最初は歌詞カードも見ずとにかく何度も聴く。そして歌詞カードを読む。ただし、ポピュラーミュージックの歌詞の英語は、学校英語や受験英語と違い、難しい単語は使われていませんが、実はやさしいとは言えません。なぜならば音楽の英語は、スラングや俗語はともかく、倒置や省略が多く使われています。習慣や文化的な背景を理解しないとピンとこないこともあるわけです。しかし、最初からすべてを理解しようとしなくていいことが大切です。

次に、歌詞カードを片手に曲をフォローする。ヘッドフォンで片方の耳で聴き、フォローした自分の声、ヴォーカルをもう片方の耳で聴く。最初は、当然フォローできません。しかし、これを繰り返し行う。好きな曲ですから、苦にならないでしょう。これを何度も繰り返す。

次に歌詞カードを見ずに、また何度も聴く。

英語の曲を文法的に理解するのは、最後に近い段階です。しかし、曲をあまり文法的に理解することにこだわる必要はありません。七分方理解したら、アルバム全体に同じ方法を繰り返し、好きなミュージシャンの好きな曲の入ったアルバムを通してこの方法を適用する。

1つのアルバムをとにかく通して、これをやってみる。好きな曲を理解しようと自然に文法的解明の必要性も感じてくるでしょう。

すると、自分の中に、ある世界が開けてきます。この“世界”を持つことが、とても重要なことです。断片ではなく、このように好きなアーティストの深い世界を自分の中に持つ。すると、英語というものも、自然と自分にとって楽しく、より親しみのあるものになる、コミュニケーションできる英語というものが、自然に身についてくるのです。

ビートルズのファースト・アルバム：“Please Please Me”

“Please Please Me”はビートルズのファースト・アルバムです。この、“Please Please Me”

は、このアルバムのタイトルとなった曲です。このようにやっていると、“Please Please Me”の2つの Please は、同音異義語であることがわかります。最初の Please は、「どうぞ」の Please、文法的には副詞(adverb)です。2番目の Please は、「楽しませる」の意味を持つ動詞(Verb)です。I’m pleased to see you. (あなたと会えてうれしいです) と言うときに使われるものです。つまり、“Please Please Me”は「どうか、どうか私を」という意味ではなく、「どうか僕を喜ばせてくれ」と女の子、恋人に言っているのです。実際、“Last night I said these words to my girl”(昨夜、こんなことを彼女に言った)という歌詞がこの曲の冒頭で使われます。そして、彼女がつかないことが歌われます。“I know you never even try, girl.”(君は、そうしようもしないことを知ってるよ)と。

“Please Please Me”は、つかない彼女に、「僕は君をよろこばせているように、すこしは僕をよろこばしてくれよ」と言っている曲なのです。

Last night I said these words to my girl (昨夜、僕は君にこれらのことを言った)

I know you never even try, girl (君はしようもしないけど)

Come on, come on, come on, come on (さあ、カムオン・・・)

Please please me, oh year (どうか僕をよろこばせてくれ)

Like I please you (僕が君をよろこばしているように)

“You don’t need me to show the way, love”

の You don’ need me は「君は私を必要としていない」という意味ではなく、

「君は、(よろこばす)方法を僕に教えてもらう必要はないよ」と言っています。

この need の使い方は、学校英語、受験英語ではあまり出てこない口語的なものと言えます。

Why do I always have to say, love (なぜ僕は君にいつも言わなくてはならないんだ)

Come on, come on, come on, come on (さあ、カムオン)

Please please me, oh yeah (どうか僕をよろこばせて)

Like I please you (僕が君をよろこばしているように)

I don’t want to sound complaining (文句を言っているように思われたくないけど)

But you know there’s always rain in my heart (僕の心にいつも雨が降っているのを君は知ってるはずだ)

I do all the pleasing with you (僕は君がよろこぶすべてのことをやっている)

It’s so hard to reason with you, oh yeah (君にわかってもらうのは骨が折れるんだ)

Why do you make me blue. (なぜ君は僕をいつもブルー憂鬱にするんだ)

以上